

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	【上位目標】ンチシ県の妊産婦・乳幼児の死亡率と罹患率の低減 今年度は事業一年目として、2 棟の産科棟を建設した。同時に新たに建設した産科棟に、安全なお産に必要な医療機材の供与を行った。二年次は、活動を安全なお産のための待機所と水設備供与に拡大し、上位目標達成に向け事業の実施を行う。
(2) 事業内容	(イ) 産科棟のない 2 つの地域で産科棟を建設する 本事業では、ンチシ県にある 11 のヘルスセンターのうち 2 つのヘルスセンターにて、産科棟の建設を行う。 (ロ) 医療施設に設備・器具を整備する 新たに建設した 2 つの産科棟へ、安全なお産に必要な医療機材の供与を行う。 (ハ) 産院での出産の重要性を啓発し、産科棟及び関連施設の利用を促す 添付資料①事業内容、事業の成果に関する写真を参照 添付資料⑤活動内容詳細報告書を参照
(3) 達成された成果	【成果 1】 産科関連設備の充実・改善 県内の医療施設（県病院 1 カ所、ヘルスセンター 11 カ所）に適切な産科ケアを実施する体制を整えるために、産科関連施設・設備の整備を行う。 (活動 1-1) 3 カ所に産科棟を建設する 産科棟のない 2 つの地域で産科棟を建設する。 今年度は Khuwi Health Center と Mndinda Health Center にそれぞれ一棟産科棟を建設している。2013 年 6 月に建設が始まり、2014 年 2 月に完成した。今後政府への引き渡し式を経て、実際に利用開始される。(当初 5 月を予定していたが、総選挙により延期される見込み)。 (活動 1-3) 医療施設に設備・器具を整備する 設備機器を調達し新設産科棟に設置する。 今年度は、新たに建設した 2 つの産科棟に安全なお産に必要な医療設備機器を供与した。

	工事進捗状況：添付詳細写真の通り (その他の活動) 施設分娩の重要性を訴える啓発キャンペーン活動 産院での出産の重要性を啓発し、産科棟及び関連施設の利用を促す 施設分娩の重要性を訴えるべくポスターを作成し、各ヘルスセンターに配布、産科棟での分娩の重要性を周知した。
(4) 持続発展性	① 事業で建設される施設、設備および医療機器は保健省に移譲し、保健省が維持管理を行う。 ② 事業実施中から終了後まで徹底してモニタリングを行い、施設や設備機器の管理方法に問題が生じた場合は、再度保健省と話し合いの場を設け、継続的に政府に管理してもらえる体制をとる。 ③ 同地域にて、自己資金で保健分野の支援を行っている地域開発プログラムを通じて、フォローをできる体制にし、持続性を確保する。